

筑紫女学園は、仏教特に浄土真宗の教えを建学の精神とし、「自律」、「和平」、「感恩」を校訓として掲げ、限りない〈いのち〉への目覚めをうながし、社会の中で自己を実現する人の育成を通して、新しい時代を創造することを基本理念としています。

筑紫女学園大学は、学生が本学での学生生活を通じて、人生を深く豊かに生き抜く力を身に付け、自立した女性を育成することを教育目標としています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学における学士力 筑紫女学園大学は、専攻分野にかかわらず、大学卒業者にふさわしい力を次のとおり定義します。学位の専攻分野も踏まえた力については、国際的通用性を踏まえて DP（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与の方針）を定めています。

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
 - ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」

- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
 - ①多様な価値観を尊重し、他者をつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」

- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
 - ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。
「基礎的な専門性／専門的な職業人としての力」

- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

「本学における学士力」のうち、各学位の専攻分野を踏まえた力を次のとおり定めます。これらの学士力を身に付け、各教育課程の卒業要件を満たした学生に対し、「学士」の学位を授与します。

【日本語・日本文学科】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「基礎的な専門性」
 - ・日本の言語・文学・文化の学びに基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。
 - ・日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、的確な言語表現を行うことができる。
 - ・日本の文学及び文化の特質に対する理解に基づき、多様な他者との関わりを通して見いだした自己の考えを示すことができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【英語学科】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「基礎的な専門性」
 - ・英語を用いて適切なコミュニケーション（聞く・話す・読む・書く）を図ることができる。
 - ・英語の構造や成り立ちに対する理解に基づいて、それらの特徴を説明することができる。
 - ・英語圏の文学や文化に対する理解に基づき、多様な他者との関わりを通して見いだした自己の考えを示すことができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【アジア文化学科】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつなげるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「基礎的な専門性」
 - ・アジアの諸言語を用いてコミュニケーション（聞く・話す・読む・書く）を図ることができる。
 - ・アジアの諸地域の社会事情について、その特徴と課題を説明することができる。
 - ・アジアの文化への共感と理解に基づいて、その特徴を具体的に説明・表現することができる。
 - ・アジアへの理解に基づき、多様な他者との関わりを通して見いだした自己の考えを示すことができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【人間科学科 人間関係専攻／心理・社会福祉専攻 心理コース】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつなぐための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「基礎的な専門性」
 - ・人間が多面的で多様性をもった存在であることを説明することができる。
 - ・人間の心の発達段階における諸課題について説明することができる。
 - ・人間が直面する心の諸課題について、改善・解決に有効な援助法を説明することができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【人間科学科 人間関係専攻／心理・社会福祉専攻 社会福祉コース】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「専門的な職業人としての力」
 - ・福祉専門職に求められる倫理観や人間観を身に付けている。
 - ・福祉専門職に求められる知識・技能を身に付けている。
 - ・社会福祉を取り巻く社会・地域・家庭の状況について概要を説明することができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【人間科学科 人間関係専攻／初等教育・保育専攻 初等教育コース】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「専門的な職業人としての力」
 - ・初等教育の専門職に求められる倫理観や人間観を身に付けている。
 - ・初等教育の専門職に求められる資質や知識・技能を身に付けている。
 - ・初等教育を取り巻く社会・地域・家庭の状況について概要を説明することができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【人間科学科 人間関係専攻／初等教育・保育専攻 幼児保育コース】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者をつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「専門的な職業人としての力」
 - ・幼児教育と保育の専門職に求められる倫理観や人間観を身に付けている。
 - ・幼児教育と保育の専門職に求められる資質や知識・技能を身に付けている。
 - ・子どもを取り巻く社会・地域・家庭の状況について概要を説明することができる。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

【現代社会学科】

- (1) 自己と向き合い、社会人として生きる力を身に付けている。
- ①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」
 - ②自分の感情や欲求をコントロールして行動できる。「自己管理能力」
 - ③他者と協働して課題に取り組むことができる。「チームワーク力」
 - ④社会の一員としての意識を持ってその発展に関わることができる。
「市民としての社会的責任・勤労観」
- (2) 社会生活に必要な力を身に付けている。
- ①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。
「コミュニケーション・スキル」
 - ②多様な情報の中から必要なものを選択し、活用することができる。「情報リテラシー」
 - ③獲得した情報や知識を使って物事を筋道立てて考えることができる。「論理的思考力」
 - ④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」
 - ⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」
- (3) 現代社会を生きる自己を実現するための力を身に付けている。
- ①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」
 - ②一定分野または特定分野の知識・技能を獲得している。「基礎的な専門性」
 - ・社会学分野及び現代社会の特定分野の基礎的な知識・技能を身に付けている。
 - ・現代社会の諸問題に対して、さまざまな視点から考えることができる。
 - ・社会現象を調査し、結果を分析する方法についての基本的な知識・技能を身に付けている。
 - ・社会における実践的な活動の中で、自らの知識を深めることができる。
 - ・社会に対して、自らの発見を効果的に発信するための基礎的な知識・技能を身に付けている。
 - ・社会の課題について常に学び続け、その成果を社会に還元するために必要な知識を身に付けている。
- (4) 社会の多様な問題に取り組む実践力を身に付けている。これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」

■大学院

【人間科学研究科 人間科学専攻】

- (1) 人間存在について、深く理解し自らの言葉で論ずることができる。
- (2) 人間が抱える問題及び人間をとりまく社会や文化の中に存在する問題に対し、多面的な支援の方策を適切に導き出すことができる。
- (3) 「人間科学コース」「臨床心理学コース」のそれぞれにおいて、設定した研究テーマについて適切な研究方法に基づいた探究を行い、得られた結果や知見を論文としてまとめることができる。
- (4) 研究成果及び研究を通して身に付けた研究的資質を活かし、高度専門職業人として実践的活動をすることができる。